



コード（分野）	10601 (4. キャリア教育)
メニュー名	美容師の体験とお話
校園名(学年)	東近江市立湖東第一小学校 6年28名
講師・支援者等	公益財団法人 滋賀県生活衛生営業指導センター
学習名	達人の生き方に触れよう
教科等	総合的な学習の時間
実施日	令和7年11月10日(月) 11:00~12:10

《授業の流れ》

[体育館にて実施]

1 自己紹介…大津市の「琵琶湖ラボ」にて、夫婦で美容師をしている。

2 男子児童は男性美容師、女子児童は女性美容師に分かれて説明と実演

- ・以後12:10まで、子どもたちの髪形や髪質に合わせたヘアセットをしながら、子どもたちの質問に答えたり、自ら情報を発信したりで進行。
- ・男女児童5名ずつにヘアセット体験。
→髪を見て触って、質感や癖を把握して、その人に一番合うだろう感じに仕上げていく。
ぱさっとした髪はボリューム感を、天然の癖髪はしなやかさや艶を出す。

(質疑応答等)

Q やりがい:喜んでもらえること。癒しのお手伝いができること。

どうすればカッコよく見えるか、満足していただけるかを常に考えている。

Q 大変なこと:はさみがよく切れるので、手をよく切ること。

若い頃は朝から晩までセットした後、片付けからレッスンをして睡眠不足になつて、体力的にきつかった。



☆はさみについてミニ情報☆

- ・はさみはカットの仕方で何種類もあり、1本7万円以上する。刃が繊細。
- ・はさみの使い方を伝授:親指が下で親指だけ動かす。

Q 選んだ理由:小さいころ天然パーマが嫌で美容室に行った際にセットしていただいた時に、美容師に強く憧れた。



Q 1日の仕事:掃除、洗濯、ヘアセット(カット)の毎日。

Q なる方法:高校卒業→美容専門学校2年→国家試験→免許取得
→店で修業→独立等

Q 大切なこと:人の気持ちが考えられる人になること。A.I.を使いこなせるスキルを身につけること。

(エピソード)

- ・一番遠いお客様（常連客）は、アメリカから2、3ヶ月に1回来られる。
- ・滋賀県だけ美容専門学校がないので、2029年草津市と連携して設立予定。
- ・昔、散髪屋さんは医者だった。…顔そりがあるのはその理由。



<感想等>

児童

- 自分もヘアセットができるようになりたいです。これから弟の髪をセットしてみたいです。
- 一人ひとり丁寧に教えていただき、仕事をするときにこんなにも気遣いが必要なんて知りませんでした。
- 今回の授業で美容師に興味がわいてきました。男の子も女の子もみんな雰囲気が変わってすごいと思いました。

学校(担任の先生等)

- 美容師の方の技や仕事に対する考え方を聞くことで、普段の授業では得ることのできない貴重な学びを得ることができました。
- 体験を通して、ヘアセットの難しさや仕事の大変さを実感しました。
- 子どもたちの中には美容師の仕事にさらに興味をもった児童もおり、今回の経験を生かして、自分の夢について考えるきっかけとなる有意義な時間になりました。

取材者

- クラスメートの髪形が変身し、ビフォーアフターの姿に児童全員が驚き、感動し、セットしてもらった児童はとても嬉しそうに、「今日は髪を洗いたくない。」と話していた。
- 講師の手さばきや高級なはさみを目の当たりにして、子どもたちの目が輝いていた。また、約2時間続きであったが、子どもたちは集中力が途切れず、まだまだ学びたい様子であった。
- キャリア教育の中で、こういった体験を通して仕事の魅力に触れることがいかに大切かを感じた。セットされていない児童も講師の技術や話に興味津々であった。

